

【胃がん検診】

<検査方法>

○胃内視鏡検査(胃カメラ)

前日の夕飯以降食事はできません。



胃カメラを鼻から希望する場合は、鼻からの胃カメラが実施できるかどうか、事前に病院に確認しましょう。

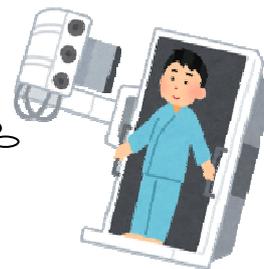
流れ

- ①胃の中がきれいに見えるようにする薬を飲み、喉や鼻の中に表面麻酔を付けます。
- ②口又は鼻から胃カメラを飲んで直接胃の中を撮影して見ます。
※胃カメラの細さは鉛筆程度です。
※検査後 1 時間程度は飲食できません。
★異常を見つけた場合は、そのまま精密検査ができます。

○胃部 X 線検査(バリウム)

前日の夕飯以降食事はできません。

機械が動いて角度が変わる！



流れ

- ①コップ一杯のバリウムを飲み、胃を膨らませます。
(ゲップは我慢します！)
- ②そのまま横になり、角度を変えながら360度 X 線撮影します。
※検査終了後は、下剤を飲んでバリウムを出します。

<胃がん検診のメリット>

- ◆胃がんによる死亡率の減少効果がある。
- ◆内視鏡検査(胃カメラ)で異常が見つかった場合精密検査も同時に実施できる。
- ◆がん以外の疾患も発見できる。

<デメリット>

- X 線検査の場合、少量の被爆がある。
- 治療の必要のない所見が発見されることがある。
- 必ずがんが見つかるわけではない。
- 稀に、使用薬剤による副作用や検査に伴う偶発症が起きることがある。